



中曾根

やすたか通信 号外

NAKASONE

中曾根 康隆

YASUTAKA

FUKUSHIGE

福重 隆浩

TAKAHIRO

群馬のために、
日本のために。

中曾根 康隆(なかそね やすたか)／衆議院議員／自民党外交部会副会長・党青年局次長
昭和57年1月19日生まれ(39歳)／慶應義塾大学卒、米国コロンビア大修士
群馬県前橋市在住／妻・双子(1歳)の4人家族

福重 隆浩(ふくしげ たかひろ)／前群馬県議会議員(5期)／公明党群馬県本部代表・党地方議会局次長
昭和37年5月3日生まれ(59歳)／創価大学経営学部卒／
群馬県高崎市在住／妻・長女の3人家族

日頃より私の政治活動に対しまして多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
現在、我が国は内外ともに様々な課題を抱えておりますが、その中でも最も国民の皆さまが心配されているのが新型コロナウイルス感染症問題であり、我々としても新型コロナ対策を最重要課題として取り組んでおります。

国民の暮らしと事業、雇用をしっかりと守り、ポストコロナの時代に向けて一刻も早くこの状況から抜け出すためにも、地域を歩く中で頂いた皆さまの声を真摯に受け止め、国へ届けてまいります。

さて、衆議院の任期満了まで残りわずかとなりました。国難とも言えるこの状況において、何よりも大切なことは政治への信頼であります。安定した政権運営には、

自民党、そして友党である公明党との綿密な連携が欠かせません。本誌では、公明党群馬県本部代表である福重隆浩(ふくしげ・たかひろ)さんとの対談を特集しております。福重さんは群馬県議会議員を5期務め、現在は公明党地方議会局次長という重役を担う、経験も実績も豊富な政治の先輩であります。

引き続き政権与党の、そして群馬県の議員として国民・県民の皆さまに寄り添い、信頼される政治を取り戻すために全力で精進してまいります。

衆議院議員 中曾根 康隆

今こそ、 私たちの チカラで。



新型コロナの状況

中曽根 まず新型コロナウイルスの感染状況ですが、変異株などの猛威により依然として深刻であり、医療提供体制の整備や自宅療養者への対応が急務です。今は政府・自治体・国民、そして医療界が一体となって感染拡大防止に努めなければなりません。一方で感染収束への切り札とされるワクチンは着実に接種が進んでおり、特に我が群馬県での接種率は全国トップレベルを維持しています。これは県央・東毛の2箇所に設置された県営ワクチン接種センターの効果でもあります。

福重 ワクチンの接種については、早い段階で知事と面会し、県が開設予定の県営ワクチン接種センターを混乱なく運営できるよう、自治体との連携強化を求めるとともに、県全体の接種状況を踏まえた他地域への接種センター開設や潜在看護師の活用などについて要望してまいりました。結果としてこのような接種率を達成できたことは喜ばしく思いますが、何よりも円滑な接種体制の構築にご尽力賜りました県内の医療従事者の皆さま、そして自治体を始めとする関係各位に深く敬意を表します。

中小・小規模事業者支援

中曽根 新型コロナの長期化や移動制限により最も大きな影響を受けたのが観光業、飲食業などのサービスに関わる業界です。私も県内の旅館やスキー場、また飲食店で働く皆さんの現場へ何度も伺い、非常に多くの意見を頂きました。

「去年の夏以降お客さんはほぼゼロ。今回こそはと思っていた途端に何度も緊急事態宣言が出され正直経営が続けられない」「お客様が激減し経費を考えれば赤字。借金返済を考えると怖い」「東京など首都圏からのお客さんが全く来ない。もう体力の限界だ」これらの意見はいずれも大袈裟でなく、生活していけるかの瀬戸際で頑張っている皆さんの本音です。このような事業者にとって「雇用調整助成金」は生命線であり、必要な限りこの予算は確保するべきです。

福重 私は、新型コロナの影響で苦境にある観光業界の支援を目的とした「愛郷ぐんまプロジェクト」を5月議会で提案し、知事の英断で実現。昨年の6～7月に実施しました。この第1弾では延べ約32万7000人が利用し、約84億円の経済効果がありました。第2弾は今年の3月から実施されましたが、地域経済により効果を及ぼすために地元の飲食店や土産物店で使えるクーポンを発行しました。この支援事業に対し、観光業に携わる皆さんを始め、ご利用頂いた多くの県民の方々からも非常に好評を頂きました。このプロジェクトにより、県民の皆さんが地元の魅力を再発見するとても良い機会になったと思います。また赤羽国交大臣にも、このような地元住民を対象に行う観光支援事業に対し、国が財政支援を行うよう対応して頂きました。今後は県独自のワクチンパスを活用した「愛郷ぐんまプロジェクト第3弾」など、社会経済活動再開に向け需要を喚起していく予定です。

農業・豚熱対策

中曽根 この4年間でたくさんの若手農家の方々と意見交換を重ねてまいりました。国の農業政策については、大規模化、法人化、輸出もいいが、家族経営で頑張っている農家にもっと光を当てて欲しいという意見を多く頂きました。農業で「どう稼ぐか」という以前に、農業で「どう生活をしていくか」を考えると、後継者不足はより深刻になります。マクロ的な農業の生み出す数字も大事ですが、やはり各地域の家族経営農家無くして日本の農業は成り立ちません。

また前橋市は、「TONTONのまち」と言われるように養豚が盛んであり、豚肉の産出額は全国でトップクラスですが、その豚が豚熱の発生により多くの被害を受けました。感染源となっている野生イノシシなどの鳥獣被害対策についても、猟友会の高齢化が進む状況下、絶対的な頭数を減らす抜本的な対策を打ち出さないと解決しません。**福重** 豚熱対策については、本県の主力産業の1つである養豚業を守るため、国及び市町村等と連携しながら県の最重要課題の1つとして取り組んでまいりました。飼養豚へのワクチン接種に関しては、今年の6月に全国に先駆けて知事認定獣医師制度をスタートさせ、適切な時期でのワクチン接種を進めてきました。更に農場での防鳥ネットの整備支援、農場の飼養衛生管理徹底のための点検アプリの運用、野生イノシシの捕獲強化、経口ワクチン散布など、あらゆる手段を講じてしっかり対策してまいります。

またコロナ禍で農業者のセーフティーネットとして注目されているのが、2019年から導入された農家の収入保険制度です。この収入保険の導入については、公明党が農業生産者や関係団体などからの「幅広いリスクに対応できる保険制度を」という要望を受け政府に訴えて続けてきたものです。

教育・少子化対策

中曽根 少子化対策についても積極的に関わってまいりました。政府は2025年までに現在の出生率を1.8まで上げる目標を掲げていますが、その対策は停滞しています。私も昨年の4月に双子の父になり、育児と仕事の両立を目指して日々奮闘していますが、想像以上に大変です。そのような中、男性の育児休業取得を促す改正育児・介護休業法が先の国会で成立しました。子どもが生まれてから8週間以内に最大4週間の休みを取得できる「男性版育休」の新設が柱となりますが、これにより企業が男性従業員に休みの取得を促したり、制度の説明をすることが義務化され、夫婦が協力して子育てに取り組みやすくなる狙いです。

福重 これまでは子どもの預け先が見つからないため働けない、育児のためには仕事を辞めざるを得ない、そのような理由から子どもを産めない、という「仕事か育児か」という2択しかありませんでした。公明党は昨年10月に菅総理に対して男女共同参画に向けた提言を提出し、全ての男性が育児休業を取得できるようにするための

「男性の産休」を創設するよう提案しました。これが今回の法改正につながったことは大変嬉しく思います。

中曽根 「国づくりは人づくり」と言われるように「教育」は国家の在り方そのものです。私は現在、党の自民党教育再生調査会の事務局次長を務めておりますが、コロナ禍において学校教育のあり方は激変しました。様々な課題が浮き彫りになる中で、GIGAスクール構想における1人1台タブレットや、それに伴う教師の役割の変化、《個別最適化学び》と《協働的な学び》のハイブリッド教育、リモート授業、競争社会から共創社会へ、その上で子供達のウェルビーイングを追求し、誰1人取り残さない社会の実現や、高大接続や地域大学の役割などなど、多岐にわたる論点をまとめ、萩生田文科大臣に報告しました。

一方でデジタルが全てではなく、従来の学校教育の良い所は残し、生徒が同じ空間を共有し、共に感じ、触れ合い、学ぶ、といった事は引き続き重要であると考えます。要するにデジタルをどう上手く使っていくかがポイントです。

福重 公明党はこれまで学校現場の声を受け止め、国と地方のネットワークを生かし、1人1台端末の配備を訴えてきました。誰一人取り残すことがないように、我々全国の地方議員と国が連携し、配備完遂に向けて全力で取り組んでおります。現場ではインターネットがつながりにくい、回線速度が遅いといった課題が残されておりますが、各学校の状況をしっかりと調査・改善し、安定的な通信環境の整備もしっかり行わなければなりません。全国には不登校や病氣療養などの様々な理由で学校に通えない児童がたくさんいますが、ICTの活用はこのような生徒にとりましても大変大きな効果が期待され、積極的に推進するべきだと思います。



中曽根 現在のような国難とも言える状況の中、国と地方がいかに問題意識を共有し連携していくかが改めて重要であると痛感しております。アフターコロナを見据え、群馬をさらに魅力的で暮らしやすい場所にしていくためにも、政権与党である自民党と公明党が協力し合い、様々な問題解決に全力で取り組んでいきたいと思ひます。福重さんにはこれまでの地方議員としての貴重な経験を生かし、次のステージに向け益々のご活躍を期待しております。

福重 中曽根さんは普段から本当に地元に細かく歩き、地域やいろいろな業界の様々な声を受け止めて頂いていると聞いております。私も群馬県の発展のために中曽根さんと共に汗をかいてまいりたいと思ひますので、今後とも力を合わせ頑張ってまいりましょう。

中曽根康隆事務所

——— ぜひお気軽にご相談下さい ———

◆**前橋** 〒371-0841 群馬県前橋市石倉町3-10-5
TEL/027-289-6650 FAX/027-289-6623

◆**国会** 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館 923号室
TEL/03-3508-7272 FAX/03-3508-3722



SNSに日々の活動をアップしております

